

ありあけうみ通信

「有明海魚介類漁の再生を目指して」



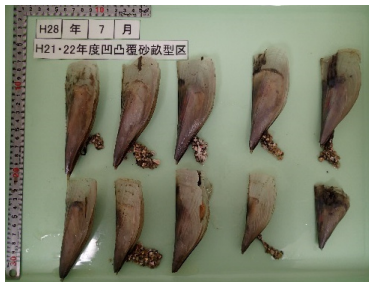
タイラギ着底状況調査の結果

五月二十九日、六月二十七日、二十八日、七月七日に目視によりタイラギの着底状況を調査しました。

七月七日調査では、平成二十一年・二十二年度覆砂区で最大1平方メートル当たり約1.25個体の成貝が確認されました。

平成二十五・二十六年度覆砂区では最大で1平方メートル当たり約0.25個体の成貝が確認されました。

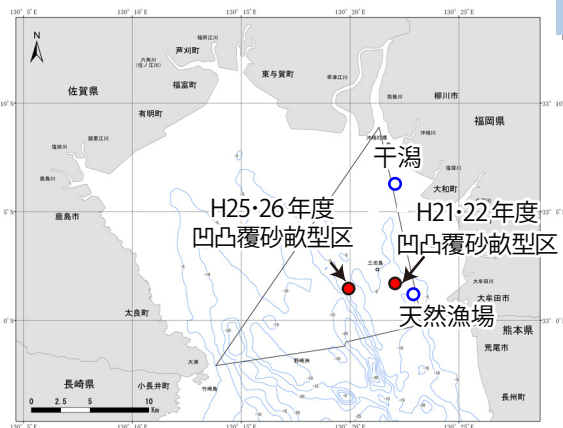
天然漁場では1平方メートル当たり約0.65個体の成貝が確認されました。



7月7日に採取したタイラギ (平成21・22年度凹凸覆砂畝型区)



7月7日に採取したタイラギ (天然漁場)



タイラギ着底状況調査位置

【調査方法】
 (覆砂区) ライン観測 潜水士による目視観察。間縄付きの沈子ロープを測線の起点と終点間に張り、測線幅2mの範囲の底泥表面のタイラギ個体数を2m毎に記録。
 (その他) スポット観測 潜水士による目視観察。1人当たり5分間観察によりタイラギ個体数を記録。

第14号 (2016.8.12)

タイラギ浮遊幼生の来遊状況の確認

タイラギ浮遊幼生の覆砂漁場への来遊状況を確認する調査を次に示す七地点で六月十五日、七月一日、六日、十九日に行い、いずれの調査でもタイラギ浮遊幼生が確認されました。

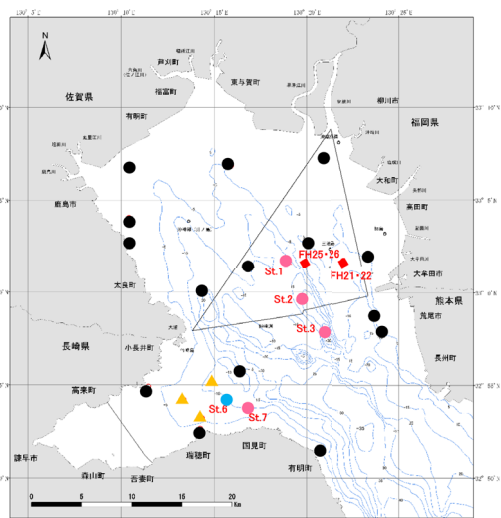
ポンプ法で試料を採取した覆砂区を含む六地点では、底層水600リットルあたり最大27個体の浮遊幼生が確認されました(以下、同様)。覆砂区では、七月六日に平成二十一年・二十二年度凹凸覆砂畝型区において3個体、七月十九日に平成二十五・二十六年度凹凸覆砂畝型区において5個体の浮遊幼生の来遊が確認されました。

確認された浮遊幼生の殻長は、0.09ミリメートルから0.68ミリメートルであり、七月六日の調査ではSt.3ならびにSt.7において、着底間際と考えられる0.60ミリメートル以上の個体がみられました。

調査日: 7月6日 調査日: 6月15日
 調査地点: St.3 調査地点: H25・26覆砂区
 殻長: 0.66mm 殻長: 0.14mm



確認されたタイラギ浮遊幼生



●: タイラギ浮遊幼生 調査地点 (凹凸覆砂畝型工)
 ●: タイラギ浮遊幼生 調査地点 [エンジンポンプを用いて下層の海水を採水 (四県協同調査手法)]
 ●: タイラギ浮遊幼生 調査地点 [小型プランクトンネットを用いて採水 (従来調査手法)]
 ▲: 平成27年度までの調査地点 (諫早湾口部)
 ●: 四県協同調査 調査地点

タイラギ浮遊幼生調査地点



代表機関 一般社団法人 全国水産技術者協会
 Tel. 03-6459-1911 Fax: 03-6459-1912
 いであ株式会社 株式会社シャトー海洋調査
 株式会社オオスミ 株式会社日本海洋生物研究所

二十六年産人工種苗の移植

凹凸覆砂畝型工の母貝成育場としての機能を検証するために、六月十一日に二十六年産人工種苗の移植を実施しました。

移植した人工種苗は、平成二十六年産に国立研究開発法人水産研究・教育機構西海区水産研究所が有明海産のリシケタイラギを母貝として生産したもので、殻長は約16センチメートルでした。

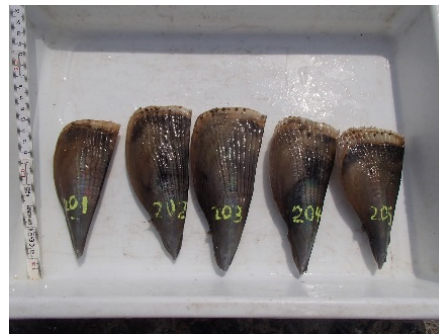
移植場所は平成二十五・二十六年産凹凸覆砂畝型区とし、合計200個体を移植しました。

移植作業は、西海区水産研究所職員の立会のもと、潜水士がタイラギを1個体ずつ凹凸覆砂畝型区の海底に差し込み、移植後にナルトビエイ等による食害を防止するため漁網を用いて食害対策を施しました。

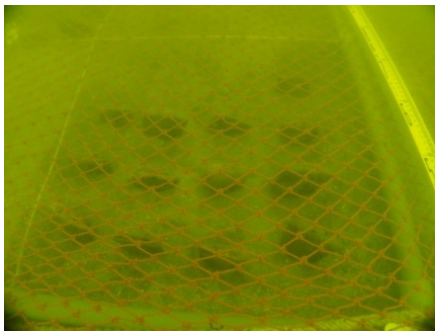
今後は、モニタリング調査を行い、凹凸覆砂畝型工に移植したタイラギが移植後に正常に成長、成熟し産卵するかを確認します。



作業状況
(平成25・26年度凹凸覆砂畝型区)



移植した人工種苗
(平成26年度生産)



移植後の状況

二十七年級群の移植

凹凸覆砂畝型工のタイラギに対する生残・成長の効果を実証するために、平成二十一・二十二年度凹凸覆砂畝型区に着底した二十七年級群のタイラギを、平成二十五・二十六年産凹凸覆砂畝型区ならびに干潟試験区に移植しました。

干潟試験区への移植は七月十五日、平成二十五・二十六年産凹凸覆砂畝型区への移植は七月十八日に実施しました。

移植個体数は1か所につき100個体で、殻長は約10センチメートルでした。

移植作業は、二十七年級群を採取して移植場所まで輸送した後、上記の二十六年産人工種苗と同様に潜水士がタイラギを1個体ずつ海底に差し込み、漁網を用いて食害対策を施しました。

今後は、モニタリング調査を行い、移植したタイラギの生残を確認するとともに、成長、健康度について確認します。



採取場所・移植場所



採取・移植した27年級群
(平成21・22年度凹凸覆砂畝型区)



移植作業の様子